

事業番号	085
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	観光推進事業				担当部	市民産業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	商工観光課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	まちづくり観光係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		30 観光		2 観光推進体制を強化する				
		副目的	30-1								
	予算区分	款	7	項	1	目	3	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	愛知県観光振興基本計画 小牧市観光協会事業費補助金交付要綱									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧市の観光の振興を図るため、関係団体等と連携し、観光資源の掘り起こしやPR活動を実施する。また、観光推進の中核としての役割が期待される観光協会の活動を支援し、小牧市の観光の振興を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>○観光PR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット「小牧市ロードマップ」を作成し、小牧市の観光資源について広くPRした。印刷部数 3000部 印刷費250千円 ○観光資源を活用した観光事業の実施 ・小牧市発祥の名古屋コーチンの生みの親の海部家の墓所のある池之内大泉寺に案内看板を設置し、来訪者へのPRに努めた。 工事費 751千円 ・織田信長公に関連する市町が連携し、ウォーキング大会、スタンプラリーなどの観光事業を開催した。(負担金 810千円) 織田信長サミット(10千円)、信長公居城連携協議会(200千円)、織田信長ウォーキング実行委員会(600千円) ○小牧市観光協会による観光事業へ補助。(補助金3,300千円) ○その他、関係団体と連携し、観光振興を図った。(負担金・補助金 921千円) (東海自然歩道愛知協議会45千円、愛知県観光協会105千円、同協会キャンペーン推進事業特別負担金280千円 (社)小牧青年会議所(小牧山ランドマークフェスタ事業費補助)491千円) ○小牧駅前観光案内所運営事業 ・小牧の玄関口である小牧駅の都市センター内に観光案内所を設置し、運営を小牧市観光協会に委託した。(委託費2,215千円、備品購入費640千円) ○小牧山城築城450年記念準備事業 ・平成25年が織田信長公による小牧山城築城450年の年であることを事前にPRする事業を小牧市観光協会へ委託実施した。(委託金 989千円) <p>◆その他直接経費の内訳</p> <p>普通旅費(218,090円)、特別旅費(83,380円)、消耗品(136,384円)、電気料金(60,966円)、修繕料(6,825円)、広告料(21,000円)、手数料(28,560円)</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット印刷製本費 250千円 ・観光案内所の単独設置(消耗品 300千円 委託料 8,400千円 工事費2,200千円 備品購入費2,000千円) ・観光施設サイン設置費工事費330千円 ・小牧市観光協会事業費補助金 15,549千円 ・その他観光関係団体補助金等(1,850千円) ・その他の経費1,624千円 									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,218	6,341	10,429	32,553	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.45	0.30	1.50
			人件費	千円	533	2,398	1,599	7,995
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.90	0.90	0.30
			人件費	千円	0	1,843	1,843	416
	費用合計	千円	5,751	10,582	13,871	40,964		
対前年比	%			184.0	131.0	295.3		
財源	一般財源	千円	5,732	10,563	13,724	40,945		
	国・県支出金	千円	19	19	147	19		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	推奨品展示即売会の開催	回	目標	3	3	4
実績				3	3	6	
業	観光めぐりの開催	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	
績	観光案内所の案内件数	件	目標	—	—	2,500	3,150
			実績	—	—	2,531	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	小牧の特産品、名産品を知っている市民の割合	%	目標	—	—	—	52
実績			56	50			
業	観光協会会員数	人	目標	110	110	110	120
			実績	103	105	111	

事業の自己評価	平成24年度の事業の達成状況	<p>・平成24年度は小牧市の観光の振興を図るため、中心母体となる小牧市観光協会の組織活性化及び組織強化に取り組むことができた。(協会内に分科会の設置・開催 33回) また、観光協会会員数については、総合計画の目標値(H25 110会員)を達成した。</p> <p>・小牧市への来訪者への観光案内等を行うため、小牧駅前(都市センター内)に観光案内所を設置し、観光情報の収集・提供を行うことができた。</p> <p>・織田信長公関連市町と連携し、ウォーキングイベントやスタンプラリー等を実施することにより、広域への小牧市の観光PRができた。</p>	
	事業実施における課題	<p>観光の推進を図るには、さらに観光協会の活性化を図る必要がある。また、小牧市の目指すべき観光まちづくりの目標、推進体制の役割分担等を明確にし、共有するための観光まちづくり計画の策定が課題である。観光まちづくりは行政だけでなく、特に商店や関係団体の理解を得られるよう時間をかけた取り組みが必要である。</p>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>観光の推進は、小牧市の活力創造、まちづくりにつながるものであり、継続的な取り組みが必要である。特に平成25年に築城450年記念事業に取り組み、観光まちづくりをスタートさせており、事業を縮小、廃止した場合、せっかく盛り上がった観光まちづくりへの気運が低下してしまう恐れがある。</p>	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<p>平成25年度は、観光案内所を小牧駅ビル1階の空き店舗に移設し、あわせて観光協会事務局もそこに設置することにより、更なる組織強化に取り組む。</p>
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの
	判定理由	<p>平成25年の築城450年記念事業を契機に、小牧市の観光まちづくりを進めるため、その基本となる観光基本計画策定や新たな特産品の開発・PRなど観光推進事業の拡大が必要である。</p>	
	26年度以降の改善案	<p>市内の観光資源の把握を行いながら、小牧市が目指す観光による地域づくりの方向性を明確にしつつ、観光推進の担い手となる人材や官民連携の推進体制の構築など、小牧市の観光による地域づくりに向けた基本計画を策定する。あわせて、新たな特産品の開発・PRなどさらなる観光推進策の拡充を図る。</p>	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。